

## 2. ブルーレースフラワーの摘心栽培

## [要約]

ブルーレースフラワーの秋播き・電照作型では、摘心栽培が適し、本葉7～10葉展開時の摘心がよい。一方、摘心後の立茎本数は、 $m^2$ 当たり20本程度がよく、株間20cm、3本仕立てが適する。

研究室名	野菜・花研究室	連絡先	0869-55-0271（内線235）
------	---------	-----	---------------------

## [背景・ねらい]

ブルーレースフラワーの無電照栽培においては、7～12月播種では到花日数が長く、特に8～9月播種では切り花長が必要以上に長くなる。このため、秋播き・電照栽培について検討したところ、無電照栽培に比べて到花日数は短く、切り花長もやや短くなるものの、まだ必要以上に長かった。このため、秋播き・電照作型において適切な大きさの切り花を生産するための摘心技術について検討する。

## [成果の内容・特徴]

1. 秋播き・電照作型では、摘心によって、切り花のボリュームが落ち、草姿も改善されて、商品性が高くなった。しかし、本葉4葉展開時の摘心では、作業が困難であったり、茎数が確保できない場合があるため、本葉7～10葉展開時の摘心が適した（表1）。
2.  $m^2$ 当たり立茎数20～50本程度の範囲内では、株間及び仕立て本数が開花日及び切り花長へ及ぼす影響は小さかった。しかし、立茎本数を増やすと収穫作業が煩雑になり、側枝数の減少や茎の軟弱化が認められる場合もあるため、立茎本数は $m^2$ 当たり20本程度がよかった。また、摘心後に揃った6本/株の茎を確保するのは難しいので、株間20cm、3本仕立てが適した（表2）。

以上の結果、秋播き・電照作型では、摘心栽培が適し、本葉7～10葉展開時の摘心がよい。一方、摘心後の立茎本数は、 $m^2$ 当たり20本程度がよく、株間20cm、3本仕立てが適する。

## [成果の活用面・留意点]

1. 摘心後の茎の発生はあまり多くないので、摘心は茎頂部分だけを摘み取るように行う。

[具体的データ]

表1 秋播き・電照作型における摘心時期とブルーレース  
フラワーの開花日及び切り花品質（平成11年度）

品種	摘心時 の設定 本葉数	摘心時 の実測 本葉数	実測 一株 本数	平均 開花日 (月日)	切り 花長 (cm)	茎長 (cm)	節数	側枝 数	切り 花重 (g)
ブルー	4	4.4	2.6	1月17日	107	56	15	8.3	76
	7	6.5	2.9	1月21日	101	56	14	8.9	69
	10	10.1	3.0	1月22日	103	58	13	7.7	57
	無摘心	—	—	1月11日	126	78	29	16.4	185
マドンナ	4	3.9	2.9	1月27日	95	44	11	6.0	44
ホワイト	7	6.4	2.9	1月21日	87	36	10	6.5	44
	10	9.3	3.0	1月25日	95	37	10	6.6	62
	無摘心	—	—	1月18日	113	63	27	14.9	163

注) 播種は平成11年8月20日、定植は同9月21日に行った。定植時から開花時まで、深夜4時間の暗期中断を行った。

表2 秋播き・電照作型における株間及び仕立て本数とブルーレース  
フラワー（ブルー）の開花日及び切り花品質（平成11年度）

株間 (cm)	目標 仕立て 本数 (/株)	実測 仕立て 本数 (/株)	立茎数 (/㎡)	平均 開花日 (月日)	切り 花長 (cm)	茎長 (cm)	節数	側枝 数	切り 花重 (g)	茎径 (mm)	下垂 度 (0~ 90)
40	6	4.5	19	1月19日	106	62	14	9.0	69	5.7	12
20	6	5.5	46	1月22日	106	60	12	7.8	53	5.5	19
20	3	2.8	23	1月17日	109	64	15	9.1	67	6.0	13
10	3	2.8	46	1月19日	113	66	15	7.4	70	6.3	24

注) 播種は平成11年8月20日、定植は同9月21日に行った。定植時から開花時まで、深夜4時間の暗期中断を行った。立茎数 (/㎡) は通路まで計算に含めた面積。

[その他]

試験研究課題・事業名：大市場向け新品目花きの探索と長期生産技術の確立

予算区分：県単

研究期間：平成10～12年度

関連情報等：平成11年度試験研究主要成果：ブルーレースフラワーの播種日と到花日数  
及び切り花品質